

社会教育委員会 会議概要

- 1 審議会名 第7期第5回社会教育委員会
- 2 日 時 令和2年6月23日(月) 午後1時30分から午後2時30分まで
- 3 会 場 教育委員会 第1会議室
- 4 出席者 関和幸委員 青木千浪委員 金子昌平委員 竹花のり子委員 早坂淳委員
小山ひとみ委員 清水洋幸委員 滝沢克子委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員
- 5 市側出席者 竜野生涯学習・文化財課長 塩崎文化財担当係長 和根崎文化財担当係長
山田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主事 古平地域学校支援員
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 1人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和2年7月22日

協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 報 告
日本遺産の認定、先人館開館、浦野川で発見されたクジラ類の化石 について
- 3 会議事項
 - (1) 教育委員会への提言について
 - (委員) 2年に1回上田市社会教育委員として提言している。前回、前々回の提言を参考に見て、7月15日までに各委員が提出し、生涯学習・文化財課でまとめた後、社会教育委員で審議をする。自分が所属している団体や活動している状況、関心を持っている状況などどんなことでもいいので上田市の社会教育、今やっている社会教育がどういう方向に向かっていくのかということ、それぞれの立場で考えをまとめてほしい。
 - (委員) コロナ問題により子供たちのケアを、今までのボランティア活動からさらに一歩前進したような形で支援活動を進めて行かなければならないという思いが非常に強く感じられる。提言の一部に入れてもらいたい。
 - (委員) 平成29年に一部改正されて、学校運営協議会の設置が、努力義務化された。学校運営協議会は信州型のコミュニティスクールと違い、委員に教職員の任用に関する意見の具申権を持っている。法改正はこのあと3~4年のうちに努力義務化は義務化に変わるだろうといわれている。そのとき長野県がどうやって子どものためにその制度をうまく活用するかという準備をしておかないといけない。信州型を進めつつ、地域と学校がうまくつながれる文化を信州の中でも進めていく必要があると思う。
 - (事務局) 各委員からの提言書は7月15日水曜日までに生涯学習・文化財課のメールアドレス宛にお願いしたい。最終提出日は、12月16日水曜日で教育委員と社会教育委員との懇談会にて提出となる。提案いただいた内容について委員で検証し11月中に最終案の提出をお願いしたい。
 - (委員) 公民館報が4月から各戸配布から回覧に変更になった。本来公民館報は公民館事業の一環であるが、諸事情から回覧になったが、市民の意見を聞いていく制度を当時の文科省が作った。やはりそこはきちんと押さえていかないといけないと思うので、提言したいと思っている。
 - (委員) WEBサイトやメールでやり取りが増え、社会が変化している。生涯学習は人間と人間のお付き合いが大事。今後生涯学習というものを本来の姿が失われないように対策を考えていく必要がある。
 - (2) 視察研修について
 - (委員) 今年度の視察研修について。これまで社会教育委員会では年に一回視察を行っていたが、今年は視察ができない状況。5月、6月の視察も中止になった。こちらから視察依頼もできず、また受け入れもできない状況。今年は第62回全国社会教育研究大会新潟大会に参加をしたい。
 - (事務局) 日程は11月12日に記念講演等、13日の金曜日に分科会が行われる。フルでの参加であれ

ば基本的には泊まり。例年の視察研修の際も基本は泊まりでやっているかと思うので泊まりを考えている。一日目だけ、二日目だけ参加ということも可能。事務局でバスを用意し、乗り合わせの予定。

(委員) 第二波、第三波が来た場合は改めて検討したい。

3 その他

(事務局) 社会教育施設の開館状況の一覧について、1枚にまとめさせていただいた。こちらについてはコロナの関係で、4月7日に7都府県で緊急事態宣言が発令、翌日に上田市でも対策本部会議あり、社会教育施設も当面の間ということで休館した状況。現在は一部利用制限等はあるが、すべての館で開館している。今後も状況によって変更する可能性があるが、上田市のホームページに随時内容を更新している。

(事務局) 7月10日に予定していた第5回佐久地区上小社会教育委員連絡協議会合同研修会が、正式に開催中止となったため報告する。

4 閉会

※ 次回の社会教育委員会議は、令和2年7月末から8月を予定（改めて通知する）